

平成 29 年度 研究報告書

子育て支援活動 ～ぶんぶんひろば～

主題

子育て支援活動を通じた保育実践力の育成
～ぶんぶんひろばの取り組み～

キーワード：地域、子育て支援、保育実践力、保育者養成

平成 30 年 3 月

滋賀文教短期大学 子ども学科

目次

【はじめに】	2
【考察】子育て支援活動を通じた保育実践力の養成 ——ぶんぶんひろばの取り組みについて——	3
【資料編】	
平成 29 年度 ぶんぶんひろば実施要綱	6
平成 29 年度 ぶんぶんひろば日程表	7
平成 29 年度 ぶんぶんひろば実施要綱（学生用）	8
平成 29 年度 ぶんぶんひろば自己点検・評価表	10
平成 29 年度 ぶんぶんひろばアンケート	12
平成 29 年度 ぶんぶんひろば活動報告・アンケート結果	13

【はじめに】

本学では平成 25 年度より、保育者養成の一環として子育て支援活動「ぶんぶんひろば」を実施しており、平成 29 年度で 5 年を迎える。

本学がこうした活動を実施するに至ったのは、保育をとりまく環境・条件などの変化に対応するためであった。現在の幼稚園・保育園・認定こども園では、園児に対する教育・保育の質の向上に向けて努力することはもちろん、子育て支援を充実させることが保育者の重要な責務となっている。

平成 27 年度からは、幼児期の学校教育や保育、地域の子育て支援の量の拡充や質の向上を進める「子ども・子育て支援新制度」がスタートし、子どもたちがより豊かに育っていくための支援の拡充が喫緊の課題となっている。

こうした社会のニーズに応えることのできる保育者の養成と地域社会への還元は、保育士養成施設である本学に課せられた責務である。そして、そのような実践力を持つ保育者を養成するためには、所定のカリキュラムに沿った教育活動だけでは十分とはいえないと考え、地域に根ざした子育て支援活動「ぶんぶんひろば」を実施するに至ったのである。

本年度の活動目的は以下の通りである。

- (1) 学生と教員の保育力を活かして地域課題である子育て支援活動を実施することにより、社会に貢献する場を学内に設けるとともに、子育て中の地域住民と楽しく有意義な時間を共有する。
- (2) 子ども学科の学生がぶんぶんひろばを通して乳幼児とふれあい、保育の実践力を高める。
- (3) 子育て支援活動を通して子ども学科 1・2 年生、さらに国文学科の交流を活性化する。
- (4) ぶんぶんひろばを通して、地域課題としての子育て支援や、子育て支援に資することのできる人材養成について、教員が実践事例研究を行う。

特に、学生が保育の実践力を高める機会であり、同時に学生の実践力向上についての研究の場としても、ぶんぶんひろばは重要な役割を持つものとわれわれは考えている。

本報告書は上記の活動目的に基づいた平成 29 年度ぶんぶんひろばに関する実践と研究の記録である。

【考察】

子育て支援活動を通じた保育実践力の養成 ——ぶんぶんひろばの取り組みについて——

1. ぶんぶんひろばと保育実践力の養成

保育士養成施設である短期大学において保育士資格と幼稚園教諭 2 種免許状を取得しようとする、2 年間の間に学内で数多くの授業を学びつつ、保育実習と教育実習を履修しなければならない。非常にタイトなスケジュールのなかで、身につけ向上させなければならない力は多様である。さらに保育士不足が言われる中、2 年間の学びを終えた卒業生には、即戦力的な実践力も求められるようになっている。

保育士養成をめぐるそうした環境の中で、保育実践力を養成し向上させるために本学が平成 25 年より取り組んでいるのが、子育て支援活動ぶんぶんひろばである。

ぶんぶんひろばは年間 7～8 回行われ（平成 29 年度は 7 回）、春学期は 2 年生が、秋学期は 1 年生がそれぞれ担当となって実施している。1 年生については、最初に経験する実習が学年末の 2 月に設定されている。実習を初めて経験する学生にとって、机上で学んだ様々な知識・技術を理解していても、園児との実際の関わりの中で実践していくことは容易いことではない。子どもとの関わりやその中での実践を実習前に経験する機会として、ぶんぶんひろばの活動があり、ぶんぶんひろばでの取り組みを通じて、学生は保育における不安を軽減させ、子どもとの交流に慣れていくことができる。

2 年生春学期におけるぶんぶんひろばの活動は、既に 1 年間の学修と保育実習を経験し、幼稚園での教育実習や 2 度目の保育実習を控えている段階で行われる。1 年次の経験を踏まえたより主体的で高度な活動が期待される。また活動を通して、保育知識・技術を定着させ、実践力を向上させることができる。

2. 実習との違い

保育士養成施設における子育て支援活動は、その実践が学生グループによる主体的なものであり、かつ学生と教員の協働によるものであるところに特徴がある。保育実習や教育実習において、学生は大学の外に出て幼稚園・保育所・認定こども園等で保育・教育を経験するが、それは実習園に学んだり経験したりする機会を提供していただいているのである。それに対して保育士養成施設における子育て支援活動では、学生は教員と同じく、あるいはそれ以上に主体的に保育や子育て支援を行う。機会を与えていただいているのではなく、学生自らが主体的に運営しており、そうしなければなりたないのが保育士養成施設における子育て支援活動であるといえよう。また養成施設のキャンパス内において実施されることが多い。本学のぶんぶんひろばもそうした活動であり、日常的に学んでいる大学施設において、教員の指導を受けつつ、学生が準備から運営、後片付け、反省まで主体的に関わっている。

また、普段からともに学んでいる仲間と協力して実施し、同じ経験を共有できることも、実習とは大きく違う点である。保育実習・教育実習では、実習園では同じ養成施設からの学生がいるとしても 2、3 名であり、一人きりという場合も多い。そうした状況での実習と違い、ぶんぶんひろばでは仲間と協力して実施するため、同じ経験を共有することができる。さらに、同じ条件下で同じ経験をして、うまく対応

できる学生もいればできない学生もいて、感じ方や見方にも個人差がある。そうした違いから、さらなる気づきを得るなどのケースもみられる。

保育者にも強く求められる基礎力であるチームで働く力、協働力についても、通常の実習よりも身につけ伸ばすことができると思われる。実習では職員とのコミュニケーションを図るだけで精一杯というようなケースが多く見られ、協働力を十分に向上させるまでには至っていないのがほとんどである。それに対しぶんぶんひろばのような保育士養成施設での子育て支援活動の場合、上記のような条件の下で仲間と連携して主体的に運営していくため協働力が育まれると考えられ、それが活動のねらいのひとつである。意見のぶつかりあいや意識のレベルの差による諍い、協働がうまくいかなかったことによる失敗なども含め、チームで協働するという経験を深めていくことにより、協働力の向上の機会になっていると思われる。

3. 教員にとってのぶんぶんひろば

では、教員にとってぶんぶんひろばの意義はどんなものだろうか。

保育実習・教育実習では、教員は事前指導を入念に行い、また事後指導においてふりかえりをするなどにより、PDCA のプロセスでの学生の取り組みを支援している。また実習の巡回訪問では学生の実習の様子の把握に努め、必要に応じて学生に助言を行っている。しかし、巡回訪問の限られた時間では、学生の実習での様子については部分的にしか見ることができない。子どもとの関わりなどについて、実習の現場で細かく指導することは現実的にかなり難しい。

それに対し、ぶんぶんひろばでは、一人ひとりの学生の保育の様子をつぶさに観察することができる。事前の準備の段階、リハーサル、ぶんぶんひろば実施の際、そして片付けや反省会、自己点検・評価表の提出まで、その様子に対して指導・助言することができる。より生の（＝保育の現場にいる状態の）学生の姿を把握でき、かつほぼリアルタイムで指導することも可能である。

こうしたことは実習では非常に難しいことであり、ぶんぶんひろばの大きな意義であると考えられる。学生の様子の把握と、それに基づいた助言・指導は、実践力を養う上で大変有効だといえるだろう。

4. 学生自己評価と他者からの評価

学生の保育実践力を養成するという目的を達成していくためには、評価 Check し、改善 Action することが必要である。そのため、平成 29 年度は自己点検・評価表を導入し、学生による自己評価および教員による評価を行った。本報告書の資料編に掲載しているが、項目としては姿勢・資質と知識・技能のふたつに大きく分かれ、その中で①意欲・積極性、②態度、③周囲との関係・協調性、④明朗性、⑤責任感（以上、姿勢・資質）、⑥活動の流れの理解、⑦子どもの発達の理解、⑧指導計画の理解と実施、⑨保育技術の習得、⑩チームワークの理解、⑪家庭・地域社会との連携の理解、⑫子どものかかわり、⑬職業倫理の理解、⑭健康・安全への配慮、⑮記録（以上、知識・技能）の 15 の評価内容を設定し、学生自身と教員がそれぞれ 3 段階で評価するものとした。これは実習における評価表の項目と対応しており、実習先・学生・教員の三者が同じ項目で評価が可能ないように設計されたものである。

実際には、評価を行う教員にとってぶんぶんひろばの活動が非常に繁忙であったため、教員評価が十

分に行われておらず、データとしては不十分なものとなってしまった。そのためにこの研究でしかるべく取り扱うことができないのだが、限定されたデータからも学生の自己評価と教員評価では乖離がみられることは指摘できる。1年生の場合、自己評価は高めのケースが多く、それに対して教員評価はおおむね下がる傾向にある（同じ傾向は実習の評価にも見て取れる）。また反対に、自己評価が低めであり教員評価は上回るケースも数多くはないが見られる。前者の場合、主観的には「頑張った」ため評価自体が高くなっているのではないかと考えられる。どの程度のことが行えたのかという視点が抜け落ちており、自分としては頑張った（ゆえに評価されてしかるべき）という主観的評価がもっぱら前景化しているとみなすことができる。後者の場合は、本人が設定しているハードルが高いため、それに比べて成果が不十分であると感じているケースや、そもそも自己肯定感が低いため自らの行動や成果を客観視できず自信が持てないケースなどが考えられる。いずれにせよ、本人評価と第三者の評価の乖離があまりに大きいのは問題であり、実践力をはじめとする学修成果の獲得を阻害する要因となるため、ズレを埋めていく作業を試みていく必要がある。

なお、ぶんぶんひろば参加者へのアンケートにおいて学生についての感想を聴取しているが、そちらの評価はおおむね高いといえる。子育て支援活動に参加している保護者からの学生評価は高めであり、自由記述においても高評価が多い。詳細は下表および資料編の通りである。

保護者アンケート 感想・学生について（単位：人）

	非常によかった	よかった	普通	やや改善が必要	改善が必要
4月26日	4	1	0	0	0
5月24日	12	10	0	1	0
7月12日	15	6	0	0	0
9月27日	21	20	3	0	0
10月25日	26	17	2	0	0
11月29日	13	18	4	3	0
12月20日	18	10	0	0	0

5. 終わりに

データの裏付けは十分には取れていないが、ぶんぶんひろばと関わっている教員の実感としては、この活動を行うことにより、学生の総合的な保育力は着実に向上してきている。実習にも少し自信をもって臨むことができるようになってきているように見受けられる。

また、保育実践力において臨機応変で柔軟な対応力はその中核をなす力であるが、臨機応変で柔軟な対応力を養成することは非常に難しい。本人の資質などによるところが大きいためでもある。しかし、ぶんぶんひろばのような活動——さらにボランティアや本学の独自科目である基礎力プログラムなどの授業——を多く経験することによって、まずは決められた役割を遂行し、慣れと自信を持つことから、やがて臨機応変で柔軟な対応力が少しずつ涵養されると考えられる。

（神谷昌史）

*執筆に当たり、入江礼子・小原敏郎・白川佳子編『子ども・保護者・学生が共に育つ 保育・子育て支援演習』（萌文書林、2017年）が大変参考になった。

平成 29 年度 ぶんぶんひろば実施要綱

1. 名前 ぶんぶんひろば

2. 目的

- * 学生と教員の保育力を活かして地域課題である社会に貢献する場を学内に設け、子育て中の地域の住民と楽しく有意義な時間を共有する。
- * 子ども学科の学生が【ぶんぶんひろば】を通して乳幼児とふれあい保育の実践力を高め実施する。
- * 本学の課外活動としての子育て支援や保育活動を通して 1・2 年生・国文学科の交流を活性化化する。
- * 地域課題としての子育て支援や、子育て支援に資することのできる人材養成について、ぶんぶんひろばを通して、教員が実践事例研究を行う。

3. 開催回数と時期

- 年 7 回、春・秋共に水曜 10：45～12：00（2 時限目）とする。
- 事前打ち合わせを 2 回、基礎力プログラムの授業内で行う。『別紙参照』

4. 対象者 乳幼児（0～5 歳児）30 数名とその保護者

5. 指導者 本大学子ども学科教員

6. 保護者等への周知

案内文は、教員指導の下において国文学科学生が作成し、長浜市内に広報する。

7. 学生への周知

- ①基礎力プログラムの授業内にて全員に担当教員が周知する。
- ②春学期は 2 年生、秋学期は 1 年生が主体的に行う。
- ③当日の指導案は事前に担当するグループが作成し担当教員に提出
- ④事前打ち合わせ、環境準備等の担当を決めグループ内で行う。
- ⑤リハーサルは当日基礎力プログラムの 1 時限目に全員参加の上行う。
- ⑥【ぶんぶんひろば】は 2 時限目に担当グループ、駐車場グループが参加。

8. 安全面

保護者負担として毎回参加する乳幼児、保護者各 1 名に 50 円（グループ事業傷害保険料）として、当日受付で保護者が支払う。（お金の受け渡しは教員がする）

平成 29 年度ぶんぶんひろば日程表

回	日 時	内 容	担当 教員	参加学生（グループ）			
				2 年生		1 年生	
				担当	駐車	担当	駐車
1	4/26 (水)	ふれあいやそび	今若	1	2	/	
2	5/24 (水)	身体を動かしたあそび	藤井	2	3		
3	7/12 (水)	夏のあそび	大橋	3	1		
4	9/27 (水)	さわってあそぶ	今若 大森	/		1	2
5	10/25 (水)	ミニ運動会	大橋 藤井 大森 今若			2	3
6	11/29 (水)	楽器あそび	藤井			3	4
7	12/20 (水)	お楽しみ会	大橋	/		4	1

H29 年度 ぶんぶんひろば



“ぶんぶんひろば”とは？

<目的>

- ① 地域の子育て中の親子が楽しく有意義な時間を過ごす場
- ② 学生の実践的な学びの場

<対象者>

乳幼児（0～5 歳児）とその保護者 30 名程度

<時間>4/26・5/24・7/12・9/27・10/25・11/29・12/20（年間 7 回実施）

10：45～12：00 の 1 時間 15 分

<場所>

あすなるホール



1. 学生の参加形態について

「担当」と「駐車場」、の 2 回、ぶんぶんひろばに参加します。

<「担当」のすること>

第 1 回打ち合わせ、前日準備、リハーサル、当日の計 4 回

当日の保育（迎えから送り出しまで含めて）はもちろん、準備（環境整備、壁面製作、掃除、その他）参加者の出席ノートに出席シールを貼り、名札をつける。本番の保育から後片付けまで行います。

- ① 第 1 回打ち合わせメインテーマに添って何をするのか、役割分担を話し合います。

また、環境構成（壁面製作含めて）についても考えます。

*「指導演」「環境図」を作成し提出すること グループに 1 枚（別紙参照）を作成し担当教員にアドバイスをもらうこと。（授業終了後に提出）

- ② 前日準備 掃除、トイレ、授乳コーナー、遊びコーナーを含めた環境整備も行います。
- ③ 当日の 1 時限に本番同様のリハーサルを行います。
- ④ 当日の保育（あすなるホールの迎えから送りまで）、終了後の復元、振り返り、保護者アンケートの紹介をします。
- ⑤ 「ぶんぶんひろば記録」を各自が記入し担当教員に 3 日以内に提出します。

<「駐車場」のすること>

- ① 参加者の車から、あすなるホールまでの出向かえ、見送りをします。

声の掛け方、荷物の持つタイミングなど教員の姿、指導を受けながら学びます。

2. その他

保育所実習のときの服装（エプロン、名札）髪はくくって参加すること（乳幼児が来るのでそれにふさわしい服装で参加する）

ぶんぶんひろば スケジュール表

日 時	内 容	学生担当者	備 考
第1回打ち合わせ1ヶ月前 (3週間)	役割分担： リーダー 自由遊びの担当 総合司会 壁面 手遊び・絵本 ぶんぶん体操 主活動 終りの会	今回担当者全員	・リーダーは担当 教員に随時報告
3週間前	指導案・環境図提出	グループで1枚	
第2回打ち合わせ1週間前	リハーサル	今回担当者	
前日準備 (全員が揃う日を 調節)	掃除 * 玄関 (掃く) * 下駄箱 (拭く) * ホール (掃除機をかける) * トイレ (掃く・拭く・ペーパーの確認) * 案内板の設置 環境設定 * 遊びにあった環境コーナーを作る * 主活動における環境準備 受付 * 机を置く		・ボールプール ・ままごと ・積み木 ・砂場など ・主活動に必要な 教材、机、椅子 等
当 日	固定遊具 (ライオン・くまなど) を出す リハーサル (全員参加) 本番 片付け * ホールの遊具は全て片付ける 掃除 * 玄関 (掃く) * 下駄箱 (拭く) * ホール (掃除機をかける) * トイレ (掃く・拭く)	今回担当者	・実習中の服装 ・自由遊びの役割 分担 ・本番の役割分担 現状復帰
	日誌 (振り返り)	今回担当者全員	・担当教員に提出
	参加者の迎え 参加者の見送り	次回担当者	・実習中の服装

平成 29 年度 ぶんぶんひろば 自己点検・評価表

平成 29 年 月 日 (水) 第 回 ぶんぶんひろば



テーマ「 」

学 年		氏 名	
担当部署	ぶんぶんひろば	駐車場	受付 その他

※この自己点検・評価は、成績評価のためではなく、自身の成長のために振り返ることを目的としたものです。

※網掛けの評価内容は、「ぶんぶんひろば」担当の学生のみ自己点検・評価をしてください。

※評価は、【 3-高く評価できる 2-評価できる 1-努力を要する 】で行ってください。

項目	評価内容	評価の観点	自己評価	教員評価
姿勢・ 資質	① 意欲・積極性	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に進んで取り組もうとしたか 事前準備や事前学習をするなど主体的に取り組んでいたか 自ら積極的に質問することができたか 指導された内容を受け止め、次の実践に反映できたか 様々なことに興味関心を持って行えたか 	3 2 1	3 2 1
	② 態度	<ul style="list-style-type: none"> 時間や規則を守っていたか 挨拶や言葉遣い、礼儀は適切であるか 身だしなみは適切であったか 健康管理はできていたか 	3 2 1	3 2 1
	③ 周囲との関係・協調性	<ul style="list-style-type: none"> 助言や指導を素直に受け止めることができたか 指示を理解し、やりとげようとしたか 自ら話しかける等の協調的な姿勢を示していたか 周囲と協働することができたか 	3 2 1	3 2 1
	④ 明朗性	<ul style="list-style-type: none"> 安心感を与えるような笑顔や表情でかかわることができたか 活気・覇気があったか 	3 2 1	3 2 1
	⑤ 責任感	<ul style="list-style-type: none"> 決まった時間や提出物等の期限を守ることができたか 報告・連絡・相談の重要性を認識し、行動できていたか 最後までやり遂げることができていたか 言葉だけでなく行動が伴っていたか 	3 2 1	3 2 1
知識・ 技能	⑥ 活動の流れの理解	<ul style="list-style-type: none"> 時間の流れと人の流れを総合的に理解できたか 	3 2 1	3 2 1

	⑦ 子どもの発達の理解	・子どもの発達の特徴について理解しようと努めたか	3 2 1	3 2 1
	⑧ 指導計画の理解と実施	・計画の重要性を理解した上で立案できたか ・指導計画に基づき実施できたか	3 2 1	3 2 1
	⑨ 保育技術の習得	・教材用具の準備と環境整備の必要性が理解できたか ・実際に保育を担当し、保育技術を実践できたか	3 2 1	3 2 1
	⑩ チームワークの理解	・チームワークの重要性を理解できたか	3 2 1	3 2 1
	⑪ 家庭・地域社会との連携の理解	・家庭・地域との連携の重要性を理解できたか ・保護者と積極的にコミュニケーションをとろうとしたか	3 2 1	3 2 1
	⑫ 子どもとのかかわり	・子どもとよい関係を築けたか ・子どもと積極的にコミュニケーションをとろうとしたか ・子どもに偏りなく関わることができたか ・子どもひとりひとりにあったかかわりができたか	3 2 1	3 2 1
	⑬ 職業倫理の理解	・専門職としての業務内容について理解できたか ・子どもの権利擁護とそれに基づく行動をすることができたか ・倫理について理解できたか	3 2 1	3 2 1
	⑭ 健康・安全への配慮	・子どもの健康・安全の重要性を理解し、配慮できていたか	3 2 1	3 2 1
	⑮ 記録	・記録の意味を理解し、適切な記述ができていたか ・誤字脱字、適切な言葉遣いはできていたか ・考察はできていたか ・提出期限は守れていたか	3 2 1	3 2 1
教員 所見				

評価・指導教員 氏名	
------------	--

平成29年度 ぶんぶんひろばアンケート



ご参加いただきありがとうございました。今後の参考にさせていただきたいので、今日のご感想をお聞かせください。

★お住まいの地域についてあてはまるものに○をつけてください。

長浜市 ・ 米原市 ・ 彦根市 ・ その他（ ）

★ぶんぶんひろばを何でお知りになりましたか？

チラシ（さんさんランド・幼稚園・保育所・保健センター・その他 ）

大学ホームページ ・ 以前に参加して ・ 知人/友人に誘われて

その他（ ）

★感想

※ 学生について

非常によかった ・ 良かった ・ 普通 ・ やや改善が必要 ・ 非常に改善が必要

※ 内容について

※ その他

滋賀文教短期大学

平成 29 年度ぶんぶんひろば活動報告・アンケート結果

参加人数

	子ども	大人	計
4月26日	5	5	10
5月24日	27	24	51
7月12日	36	35	71
9月27日	55	51	106
10月25日	59	49	108
11月29日	51	44	95
12月20日	48	38	86

(単位：人)

居住地

	長浜市	米原市	彦根市	その他
4月26日	4	1	0	0
5月24日	16	4	2	1
7月12日	15	4	1	1
9月27日	35	7	1	1
10月25日	33	10	2	0
11月29日	27	8	3	0
12月20日	20	5	3	0

(単位：組)

開催情報入手の方法・場所

	大学 HP	チラシ	以前に参加	友人に誘われて
4月26日	3	1	1	0
5月24日	0	7	4	12
7月12日	1	6	5	9
9月27日	2	18	12	11
10月25日	1	14	12	14
11月29日	0	14	11	9
12月20日	0	7	9	12

(単位：組)

学生についての感想

	非常によかった	よかった	普通	やや改善が必要	改善が必要
4月26日	4	1	0	0	0
5月24日	12	10	0	1	0
7月12日	15	6	0	0	0
9月27日	21	20	3	0	0
10月25日	26	17	2	0	0
11月29日	13	18	4	3	0
12月20日	18	10	0	0	0

(単位：組)

保護者アンケート自由記述内容

4月26日

- ・楽しめる内容であった。
- ・こまかいところまで対応していただきよかった。
- ・いつもたくさん遊んでもらって楽しそうにしている。
- ・ゆったりとしていて、とても素敵な時間だった。
- ・お兄さんやお姉さんの話をする感じが、聞き取りやすくわかりやすかった。
- ・子どもと一緒に遊んでいただいて、楽しんでいたのが良かった。
- ・自由に遊べる時間があるのが良かった。

5月24日

- ・初めての参加だったが楽しめた。
- ・ギターを弾いたり、歌を歌ってくれたり、すごく楽しかった。
- ・子どもと一緒にできる曲が多くて良かった。
- ・体操やふれあい遊びなど、子どもたちのなじみのあるものを楽しんでいた。
- ・人数が多かったので、絵本は大型絵本だともっと見やすかった。
- ・ふれあい遊びたっぷり、自分もリフレッシュできた。
- ・体をもっと動かせることも、もう1つぐらいしていただきたいかった。
- ・テンポよく進んで、学生さんたちも明るくてよかった。
- ・小さい子どもと一緒にできるおどりもしてほしかった。
- ・まだ小さいので、少し内容が高めであったが、歌や楽器の演奏で、身体を使ったあそびがあったので楽しめた。
- ・点呼はマイクを使ったほうがよいのでは。
- ・すべり台やボールプールに夢中で、お話に集中せず、遊びに行っていた。
- ・学生さんたちに遊んでもらってうれしそうだった。

- ・メリハリがあってよかった。
- ・親子のスキンシップの内容でよかった。次回も参加したい。
- ・絵本は少し見にくかった。
- ・知らない歌もあって、子どもが楽しそうにしていた。いえでもやってみたい。
- ・体を動かしてリズムカルで祖手も楽しかった。
- ・流れができていてよかった。
- ・いつも楽しく遊んでもらってありがたい。
- ・座って楽しむ形だったので、緊張がほぐれにくかったようだ。でも、声も良く聞こえるし、楽しい場を作っていただけでよかった。
- ・お兄さんの声が良く通り、聞きやすかった。
- ・手遊び、歌などたくさんの人と遊べて良かった。また参加したい。
- ・子どもも喜んでいたのでよかった。
- ・ピクニックに行く設定でされていたが、子どもにはまだ流れが読み込めないまま終わってしまった感じだった。絵本より紙芝居のほうが、見やすくよかったかもしれない。

7月12日

- ・初めての参加だったが楽しめた。
- ・今回は風邪気味だったので部屋での遊びだったが、お姉さんお兄さんたちとおもちゃで遊んでもらい、楽しそうだった。
- ・風邪気味で水遊びには参加できなかったが、中遊びでも楽しそうに遊んでいたのが良かった。また参加したい。水遊びに参加された方は、とても良かったと言われていた。
- ・みんなでプールをすることはなかなかないので、楽しそうにしていた。
- ・家でしてあげられない遊びができて良かった。小さい子ども向きに、もう少しぬるま湯のプールがあっても良かった。
- ・家ではなかなかバシャバシャと豪快には水あそびさせてあげられないので、私も良かったし、本人もとても楽しそうだった。もっと遊びたいようだった。
- ・初めての体験ができて楽しかった。
- ・楽しく水遊びができて良かった。また来たい。
- ・水遊びをふだんさせてあげられないので、ぶんぶんでしていただけでよかった。また、参加したい。
- ・いろいろな水遊び道具が用意されていてとても楽しかった。
- ・初めて参加した。広くて遊ぶものもたくさんあったので、子どもが笑顔でずっといられたので良かった。
- ・マヨネーズの容器の水鉄砲がお気に入りだった。
- ・水遊びの道具が良かった。
- ・プールはとても楽しんでいたし、おもちゃもたくさんあって良かった。
- ・時間をもう少し早くしてもらえるとうれしい。
- ・8ヶ月の子どもでも楽しめた。
- ・もう少し長く遊びたかった。(プール)

- ・エスコートがありがたかった。
- ・初めての水遊びだったが、泣かずに楽しめた。
- ・初めてぶんぶんひろばに参加して楽しかったし、また次回も来たい。
- ・初水遊びを楽しめた。積極的に遊んでもらい喜んでた。
- ・いろいろな手作りおもちゃもあり楽しめた。

9月27日

- ・家庭では小麦粉粘土あそびはなかなかできないので、体験できてよかった。
- ・作るころから始まったので、子どもたちも興味を持って見ていた。
- ・ていねいに教えていただき楽しい時間を過ごせた。
- ・子どもも夢中になって遊んでいた。
- ・小麦粉粘土の感触にとっても喜んでた。
- ・小麦粉粘土の作り方がわかったので、すごくうれしかった。
- ・もう少し小麦粉粘土で遊ぶ時間があるとよかった。子どもが丸め方を覚えたり、粘土遊びを楽しんだりする前に終わってしまい、残念だった。
- ・遊ぶ時間が少しかったので、粘土をあらかじめ作っておいてもらって、たっぷりの時間遊べた方が良かった。
- ・始まるのが遅かった気がする。
- ・たくさんの人だったので、ギュウギュウで大変だった。
- ・たくさん的人数が一度に来たので、受付を2箇所にするのはどうか。
- ・内容は良かったが、人数も多く、名前を呼ぶ時間がかかるので、人数確認などを省いて遊ぶ時間を増やしてほしい。
- ・小麦粉粘土は、食べてしまうので、乳児には難しい内容だった。でも手遊びなどは楽しめた。
- ・時間が12時を過ぎると、子どもたちはお腹がすくので、時間を守ってもらえるとありがたい。
- ・ふだん、なかなかできない材料で粘土ができることを知ることができて良かった。
- ・子どもが粘土好きだったので、喜んで取り組めた。家でもやってみたい。
- ・初めての参加だったが、学生の対応が良くて来てよかった。
- ・子どもがすぐに飽きてしまうので、話は短めにして、遊びを十分する方が良い。
- ・粘土板が合ったので、小さな子にはやりやすかった。
- ・イベント中、乳児が寝られるスペースがあったらよかった。
- ・おみやげに小麦粉粘土をもらえてよかった。
- ・自由な行動をする子どもに、根気強く相手をしてもらった。
- ・楽しめる内容だが、人が多かったので入れ替えをしてもらった方がよかったかもしれない。
- ・学生さんたちと歌って踊ったりすることを、子どもが楽しんでいた。
- ・学生さんたちが、すごく優しく遊んでくれたので、楽しそうだった。

10月25日

- ・家庭では運動遊びがなかなかできないので、体験できてよかった。

- ・短い時間の中で内容が濃かった。楽しかった。また来たい。
- ・広い体育館で走り回り、体を動かせるだけで、子どもは十分喜んでいました。楽しかった。
- ・親子で一緒に遊べて良かった。とても楽しかった。
- ・ころころと子どもが転がすと楽しそうだった。
- ・学生さんとは思えないくらいしっかりと話をされていたので驚いた。
- ・お兄さんが前で踊るのを少し恥ずかしそうにしているのもなかなかフレッシュで、おばちゃん的には若いっていいなと思った。
- ・順番にする競技（お面をかぶる競技と自由にする競技（ボールをかごに入れる競技）があり、子どもに合わせて参加できたのがよかった。
- ・準備など大変だったと思う。有難うございました。
- ・子どもがとても楽しんでいて、親も安心して過ごせた。
- ・親の息抜きとなった。また是非お願いします。
- ・初めて参加したがとても楽しかった。
- ・学生の方が子どもと遊んでくださり、みんな笑顔でよかった。
- ・2人連れてきて、1人ずつずっと遊んでくださったので、有難かった。みんな親しみやすい学生さんでよかった。
- ・段ボール車、体操、どれも楽しかった。子どもも喜んでいました。
- ・何歳の子でもでも楽しめる内容でよかった。
- ・皆さんがにこにこしておられてよかった。それだけで楽しくなります。1歳半でも楽しめた。
- ・ボールを段ボールの車に入れることが楽しかったようだ。
- ・いろいろ教えてもらいながら（お手本を見せてもらいながら）したので良く分かった。
- ・マットごろごろ、お面、車、どれも楽しかった。
- ・月齢・年齢別のものがあったかと思う。
- ・ドラえもんダンスは喜んでいただけ。少し難しかったかな。
- ・大きい道にも、案内があれば、もっと道がわかりやすくうれしい。
- ・満足したが、もうひとつくらい競技があってもよかった。
- ・待ち時間をもう少し短くする、もしくはテンポよくするとよりよくなると思う。
- ・よういドン！は1回だけではもったいない。したい子は2回目があってもよかったと思った。
- ・かけっこがあるとよかった。
- ・ステージの上で見本を見せてもらえると見やすかったかも。
- ・年齢差があるので、手遊びなどを入れてもよかったのでは？

11月29日

- ・音楽が好きなので、とても楽しめた。
- ・学生の皆さんの親切な対応がありがたかった。
- ・内容が盛りだくさんで楽しんでいました。
- ・ササッと楽器が作れ、子どもたちも楽しそうだった。音楽は楽しい。
- ・紙芝居の「みんなでポン！」も面白かった。

- ・親も楽しみにしている。
- ・小さい年齢でも楽しめた。
- ・音楽に合わせて楽しめた。
- ・リズム遊びも、紙芝居も年齢に合った遊びで喜んでた。
- ・楽器作りが楽しかったようで喜んでた。
- ・子どもがじっとしてられず、前に出たり、騒がしかったりして申し訳なかった。あたたかく見守っていただいてありがたかった。
- ・1歳の子には、カップがガジガジおもちゃ（かじっている）になっていた。
- ・いろいろな歌を歌えてよかった。
- ・鈴も貸してもらえて、気に入ったみたいである。
- ・ピアノを弾いていた学生の声が大きくて、聞き取りやすかった。
- ・今回は、有名な手遊び歌ばかりだったので、親も歌いやすくて参加しやすかった。
- ・いつも笑顔で、子どもの目線に合わせて話しかけてくれたり、子どもたちの声を拾って進行されていたりしたのがよかった。
- ・マラカス作りは、今自分でやりたい時期なので、「自分で作れた！」という達成感が得られてよかった。マラカスも大事にしてくれると思う。
- ・描いたり、シールを貼ったりつくる作業があり、楽しめた。
- ・雨の中、駐車場で待っていてくださり、傘をさしたり、荷物を持ったり手伝っていただいてよかった。
- ・お姉さんたちが優しく、とてもなついていた。
- ・ボールプールが好きで、遊べて良かった。
- ・絵本読みのとき、前に出て行ってしまった子どもに、優しく対応して下さってありがたかった。
- ・途中からの参加だったが、楽しめてありがたかった。

12月20日

- ・子どももとても楽しんでた。
- ・上の子とあわせて4年間通わせてもらった。今日で最後になるが、本当に感謝している。
- ・盛りだくさんで大満足。
- ・トイレがとてもよかった。
- ・もっとこのような場を、たくさん増やして欲しい。
- ・帽子のシールはりがとてもよかった。2歳1ヶ月で一生懸命取り組めた。
- ・大きなプレゼントは「大きなかぶ」のアレンジで子どもがよく知っている話だったので喜んでた。
- ・子どもが参加できる劇だったのでとてもよかった。
- ・いろいろ催し物を企画してもらい楽しかった。子どもも喜んで制作や絵本、劇と参加していた。
- ・子どもへの配慮も感じられた。
- ・今年度最後のぶんぶんひろばということで、とても残念。
- ・ダンスやお話など、子どもたちが喜ぶものばかりで楽しかった。
- ・最初の案内が丁寧でうれしかった。
- ・制作がうちの子には難しかったが、楽しめた。

- ・お迎えからお見送りまで丁寧に接してもらえ嬉しかった。
- ・幅広い年齢の子どもが遊べる内容で楽しめた。
- ・子どもが自然と注目される話の仕方がよかった。
- ・手作りの帽子やプレゼントに大喜びだった。
- ・子どもたちも劇に参加できて良かった。「うんとこしょ！どっこいしょ！」とみんなで、つなひきができて楽しかった。
- ・学生の皆さんがしっかりしていた。司会の方も上手で聞こえやすかった。
- ・よいプログラムが作られていて楽しかった。
- ・ダンスや絵本、出し物など、子どもの目線で見やすくよかった。
- ・マイクの声も聞き取りやすかった。
- ・帽子作りでは、貼ることより、はがすほうが楽しかったみたい。
- ・「わーお」は子どもたちも喜んで元気よく踊れた。
- ・劇の中のおじいさんおばあさんのセリフが夫婦漫才のようでよかった。
- ・前回よりもスムーズでよかった。
- ・子どもたちの集中力が続いていたように思った。